

地域の森林資源を有効活用した木質バイオマス発電による林業の活性化



【燃料となる未利用間伐材】



【燃料チップ】



【木質バイオマス施設の外観】

<概要>

- ・ 事業実施主体：株式会社 グリーンエネルギー北陸
(富山県射水市)
- ・ 発電設備：木質バイオマス発電
発電出力 5,750kW (うち売電約4,900kW)
年間売電量 約39,120MWh (約10,800世帯分)
- ・ 燃料使用量： 約7万トン/年 (うち木質チップ6万トン)
- ・ 運転開始時期：平成27年5月
- ・ 総事業費：約32億円

<特徴>

- ・ 本発電所は、これまで山林内に放置されることが多かった低質未利用間伐材等を燃料として有効活用するため建設。
これにより、森林整備の促進と未利用間伐材の安定的な需要先の確保から、主伐、再造林といった森林資源の循環利用にもつながる。
- ・ 未利用間伐材等は、県内の森林組合などから供給され、森林所有者に利益を還元。また、県森林組合連合会と長期の供給協定を締結し、安定した燃料供給体制を構築。
- ・ 発電所や木質チップ製造工場などの運営のため、地元で新規雇用(約30人)を創出。
- ・ 当初は、細かく破碎したチップを燃料として使用していたが、ボイラー内ですぐに燃え尽きてしまい、十分な熱量が得られなかったことから、同社は、本発電所で安定的かつ効率的に発電するため、隣接する木質チップ製造工場と連携し、ボイラーでの燃焼に適したチップの大きさ(名刺サイズ(10cm×5cm×1cm)程度に加工)や水分率(42%以下)の最適化に取り組んでいる。